

10月の経済指標発表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9/29 9月投入・産出物価指数(8:50) (米)8月個人所得・消費 (欧)9月経済信頼感 (独)9月消費者物価(速)	30 8月家計調査(8:30) 8月労働力調査(8:30) 8月一般職業紹介状況(8:30) 8月鉱工業指数(8:50) 8月商業販売統計(8:50) 8月毎月勤労統計(10:30) 8月住宅着工統計(14:00) (米)9月消費者信頼感指数 (米)7月S&Pケースンラー住宅価格指数 (米)9月シカゴPMI (欧)9月消費者物価(速) (英)4-6月期GDP(確) (欧)8月失業率 (独)9月失業率	10/1 9月日銀短観(8:50) 9月自動車販売(14:00) 9月軽自動車販売(14:00) (米)9月ISM製造業景気指数 (米)8月建設支出 (米)9月自動車販売台数 (欧・独・仏・英)9月製造業PMI(確)	2 9月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 9月マナターベース(8:50) (米)8月製造業受注 (欧)ECB理事会	3 (米)9月雇用統計 (米)9月ISM非製造業指数 (欧・独・仏・米)9月サービス業PMI(確) (欧)8月小売売上高
6 金融政策決定会合(~7日) (独)8月製造業受注	7 8月景気動向指数(14:00) 8月家計消費状況調査(14:00) 日銀総裁定例記者会見 (米)8月消費者信用残高 (英)8月鉱工業生産 (イ)8月金融政策委員会	8 8月国際収支(8:50) 9月景気ウォッチャー調査 10月金融経済月報(14:00) (米)FOMC議事録 (韓)金融政策委員会	9 8月機械受注統計(8:50) 8月特定サービス産業動態統計調査(13:30) (米)8月卸売在庫 (欧)ECB月報 (独)8月貿易収支 (仏)8月貿易収支 (英)8月金融政策決定会合	10 9月貸出・預金動向(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(9月3日分)(8:50) 8月第3次産業活動指数(8:50) 9月消費動向調査(14:00) (米)8月輸入物価 (米)9月財政収支 (仏)8月鉱工業生産 (英)8月貿易収支 (ソ)8月7-9月期GDP(速)
13	14 9月企業物価(8:50) 9月マネーストック(8:50) 8月商業販売統計・確(13:30) (欧)8月鉱工業生産 (独)10月ZEW景況指数 (仏)9月消費者物価 (英)9月消費者物価	15 8月鉱工業指数・確(13:30) (米)10月NY連銀指数 (米)ハーゲンブック (米)9月小売売上高 (米)8月企業在庫 (米)9月生産者物価 (独)9月消費者物価(確) (英)9月失業率	16 (米)10月NAHB住宅市場指数 (米)10月フィフティ連銀指数 (米)8月鉱工業生産 (欧)9月消費者物価(確) (欧)9月貿易収支	17 10月ロイター短観(8:30) 6月毎月勤労統計・確(10:30) 6月建設総合統計(14:00) ※9月全国百貨店売上高(14:30) (米)10月ミシガン大消費者センチ(速) (欧)8月建設支出
20 ※9月チェーンストア販売統計(14:00) 8月景気動向指数改訂(14:00) 9月コンビニエンスストア統計(16:00)	21 ※10月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) 8月全産業活動指数(13:30) (中)7-9月期GDP	22 9月貿易統計(8:50) (米)9月消費者物価 (英)金融政策委員会議事録	23 ※10月月例経済報告 (米)8月FHFA住宅価格指数 (米)9月景気先行指数 (欧・独・仏)10月製造業PMI(速) (欧・独・仏)10月サービス業PMI(速) (仏)10月INSEE企業景況感 (英)9月小売売上高 (トル)金融政策委員会 (ア)10月金融政策委員会	24 (英)7-9月期GDP(速) (韓)7-9月期GDP(速)
27 9月企業向けサービス価格指数(8:50) (米)9月中古住宅販売件数 (欧)9月M3 (独)10月Ifo景況感指数 ※(英)10月ネーションワイド住宅価格	28 9月商業販売統計(8:50) (米)9月耐久財受注 (米)10月CB消費者信頼感指数 (米)8月S&Pケースンラー住宅価格	29 9月鉱工業指数(8:50) 9月投入・産出物価指数(8:50) ブラジル金融政策委員会	30 (米)FOMC (欧)10月経済信頼感 (独)10月消費者物価(速) (独)10月失業率 (ニュージー)金融政策委員会	31 9月消費者物価・全(8:30) 10月消費者物価・都(8:30) 9月家計調査(8:30) 9月労働力調査(8:30) 9月一般職業紹介状況(8:30) 9月住宅着工統計(14:00) 金融政策決定会合 10月日銀展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見 (米)10月ミシガン大消費者センチ(確) (米)10月シカゴPMI (欧)9月失業率 (欧)10月消費者物価(速) (仏)9月消費支出 (台湾)7-9月期GDP(速)

(備考) 各種情報ベンダー等にて作成。※印は期日が未定のもの。各指標の発表時期は変更される可能性があります。

○第一生命経済研レポートに関するご意見・ご要望は、keizai@dlii.dai-ichi-life.co.jp までお寄せ下さい。

編集後記

今年の成長戦略では企業の稼ぐ力を取戻すとしての確なコーポレートガバナンスによりグローバル水準のROEを達成していく仕組みの強化が必要とされた。

ROEの向上は本当に古くから言われ続けている事であり先進国の株価に対して日本株のパフォーマンスが劣後している局面でROE向上がブームのように叫ばれるということを繰り返してきた。今回はコーポレートガバナンスと絡め企業が内部留保を溜め込むのではなく新規の設備投資、M&Aを積極的に活用して稼ぐ力を取戻す手段として使われているわけだ。今回はブームでないことを祈る。

ROE向上を目指すべきだということと当然ながらROE向上だけが企業活動の目的ではないという意見が出てくる。当たり前である。ROE水準だけ見て投資している投資家はいない。会社には会社のビジョンがあり歴史がありいろいろ都合があることは理解しているし企業価値向上の手段もいろいろだと分かっている。企業も投資家も表面的なスローガンに囚われ過ぎず相手を理解する努力を続けることが双方の利益になり社会の利益に繋がると思う。やはり単純な二分化論は危険だ。(H. S)